

多摩市受動喫煙防止重点区域・喫煙スポット

..... 受動喫煙防止重点区域
(禁煙エリア)

..... 喫煙スポット

聖蹟桜ヶ丘駅



唐木田駅



永山駅



多摩センター駅

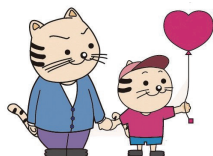


多摩市内 4 駅周辺を
『受動喫煙防止重点区域』と定めています

◆重点区域の路上喫煙は禁止です
喫煙スポットをご利用ください

◆区域外でも受動喫煙が生じないように
ご配慮をお願いします

詳細は
多摩市公式ホームページ
をご覧ください



発行日：令和 8 年 3 月

発行者：多摩市健康福祉部健康推進課（多摩市立健康センター）

住所：多摩市関戸 4-19-5

電話：042-376-9139

受動喫煙のない 多摩市をつくらう



多摩市職員
にゃんとも TAMA 三部

多摩市受動喫煙防止条例による取組

多摩市は誰もが健康で幸せにいられる健幸都市を目指します。
たばこを吸う人も吸わない人も互いに協力し合い
安心して暮らせるまちを目指し、条例を制定しました。

1 子どもたちのまわりは禁煙に

市内の公園は禁煙

子どもたちが安心して利用できる公園にします。

子どもが多く利用する施設・隣接する路上は禁煙

学校、児童館、図書館などの施設や、その隣接する路上は禁煙です。



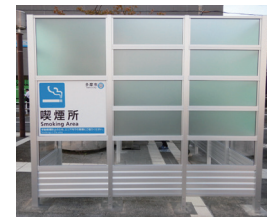
2 受動喫煙を防ぐ環境づくり

駅周辺に喫煙スポットを設置

市内 4 駅周辺に喫煙スポットを整備しました。
吸う人と吸わない人が互いに配慮しあえるまちを
目指し、さらなる取組を進めます。

禁煙治療費の助成

保険適用の禁煙治療費の 2 分の 1 を助成します。（上限 1 万円）



3 啓発・教育

巡回指導員による受動喫煙防止の啓発

主に受動喫煙防止重点区域を巡回し、
受動喫煙防止の啓発に取り組んでいます。

たばこの正しい知識の普及・教育

子どもたちが正しい知識を身につける一助として、
小中学生向け「たばこクイズ」リーフレットを
作成し学校教育での活用を図っています。



知っておきたい！たばこ・受動喫煙のこと



受動喫煙は
何がこわいの？

たばこの煙に含まれる
有害物質は、
非喫煙者にも健康被害
をもたらします。



受動喫煙によってリスクが高まる病気

大人

脳卒中

臭気・鼻への刺激感

肺がん

虚血性心疾患

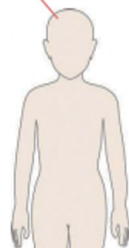
妊娠・出産

乳幼児突然死症候群(SIDS*)



子ども

喘息の既往



受動喫煙により
非喫煙者が年間
1万5000人も
死亡したと
推計されています。



出典：国立がん研究センター(2020)「喫煙と健康」

世界第4位の死因COPDを知っていますか？

(慢性閉塞性肺疾患)

COPDは、主に喫煙によって肺の働きが徐々に低下していく病気です。
次の症状があるとCOPDが疑われます。チェックしてみましょう！

01 1日に何度も
痰や咳がでる。



02 坂道などを歩くとき、
息苦しいことがある。



03 風邪をひくことが
多くなったと感じる。



- 一度発症すると完全に元の状態に戻すことは難しく、重症化すると、酸素吸入が必要になるなど、日常生活にも大きな影響を及ぼします。
- COPDになった方が喫煙を続けると、病気が進行し、命に関わる可能性があります。

禁煙は、COPDの悪化を防ぐための基本的かつ最も重要な対策です。

出典：World Health Organization(2024) Chronic obstructive pulmonary disease (COPD)



加熱式たばこでも
受動喫煙は起こるの？



加熱式たばこ使用者の吐く煙には、
有害物質を含むため、受動喫煙が起こりえます。



加熱式たばこの長期使用による健康への影響はまだ明らかになっていませんが、吐き出された煙は、見えなくなっても、3m先まで届くことがわかっています。

加熱式たばこは、健康増進法にて「指定たばこ」に分類されており、受動喫煙防止対策が求められています。

出典：日本学術会議「加熱式たばこの毒性を知り科学的根拠に基づく施策の実現を」

多摩市は禁煙治療費を助成しています

『いつかやめたい』と思っているなら『今！』です

- ◆助成内容：保険適用がある禁煙治療費の2分の1を助成(上限1万円)
- ◆申請先：健康推進課(多摩市立健康センター)



治療開始前に登録申請が必要です
多摩市公式ホームページから電子申請できます



子どもたちをたばこの煙から守ろう



子どもの前では
吸わないで

子どもはたばこの煙を防ぐことができません

- ◆受動喫煙は、子どもたちに喘息などの病気、発育発達への影響、将来的ながんのリスクなど、様々な影響を及ぼします。

子どもたちにはたばこを吸わない未来を

- ◆未成年者の喫煙は、がんや循環器疾患だけでなく全死因の死亡リスクを増加させます。
- ◆子どもの喫煙を防ぐには「正しい知識」と「たばこの煙がない環境」が大切です。ぜひ、ご家庭でもたばこについて話し合ってみてください。

出典：国立がんセンター(2020)「喫煙と健康」